

月刊 やちまなこ

2021.11.15 発行

No.288

11 月号

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより



湿原散歩

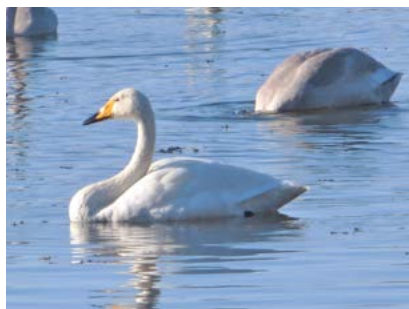
強風や大雨により、湿原周辺にある丘陵地の木々の葉は殆ど落ちてしまい、晩秋から初冬の景観へと姿を変えた。近くにある湖にはオオハクチョウやヒシクイとともに多くの水鳥たちが見え、時折上空を通過するオオワシの姿に警戒しながら羽を休めていた。例年霜柱を踏みながら歩くフィールドも今朝の雨と先日降った雨水で増水した湿原のヨシ原はまるで浮島のようにになっていた。



塘路フィールドノート【10/15～11/14】

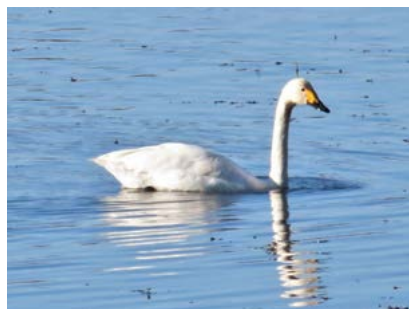
【野鳥】

水鳥たちで賑わう晩秋の塘路湖やシラルトロ湖。11月中旬を迎えた現在、例年確認される水鳥たちは勢ぞろいし、湖面は賑わいの最盛期を迎えています。水鳥たちの賑わいは例年11月下旬、湖面が完全凍結するまで続きます。



オオハクチョウ（塘路湖）

センター対岸付近にすることが多いです。湖上を群れて飛んでいく姿も度々見かけます



コハクチョウ（塘路湖）

オオハクチョウの群れに一羽だけ混じっていました。塘路湖での確認は珍しいです



ダイサギ（塘路湖）

このところ、勢力を伸ばしている種。センターの対岸付近に点々と姿が見えます



カイツブリ（塘路湖）

カモやハクチョウに混じって少数見られる水鳥。顔に白斑が目立つ手前の個体は幼鳥



カワアイサ（塘路湖）

百羽を超える大群。♀が多いように見えますが、エクリプスも混ざっているようです



カワウ（シラルトロ湖畔）

湖岸に突き出た枝に止まっていた二羽。湖西側の崖下で群れていることが多いです



タンチョウ（サルルン沼周辺）
澄んだ秋の空を優雅に飛んでいた親子。一番左を飛んでいるのが今年生まれの幼鳥



タヒバリ（シラルトロ湖畔）
散策道上をウロチョロしていました。塘路湖周辺では春と秋の渡り期に稀に見られます



ヤマゲラ（塘路湖畔）
尻下がりの独特な声が湖畔に響きます。時にはセンターの外壁をつついていっていることも

【植物】

多様な色彩にあふれていた秋は足早に過ぎ去り、塘路湖畔の光景からは徐々に色彩の鮮やかさが失われつつあります。すっかり鳴りを潜めてしまった赤や黄色。はつらつとした色彩あふれる光景とはしばしのお別れです。



イタヤカエデ（塘路湖畔）
夕日を浴びて輝く赤。この木の色彩がピークとなる頃、湖畔の秋は最盛期を迎えます



カラコギカエデ（塘路湖畔）
艶のある深紅の葉。光輝くイタヤカエデの赤とは対照的な滋味深い印象の色です



ナナカマド（塘路湖畔）
強風の影響で今年はやや寂しい感じ。ただ、残った葉は鮮やかに色付いてくれました

◎色づく対岸の山並み【今秋の色彩の変遷】



10月9日
赤と黄色はまだまばら



10月15日
赤・黄色と緑が半々ほど



10月19日
赤と黄色が優勢になる



10月25日
色付きのピークを迎える

◎ムックリ作りを開催しました

自然ふれあい行事「ムックリを作ろう」を10月16日に開催しました。ムックリ（口琴）とはアイヌの人たちが使っていた楽器で、独特な音色を奏でます。当日は塘路在住のクラフト作家の小岩佐和子さんに、材料の竹や彫刻刀で削る作業などの説明を受けたあと、作業に取り掛かりました。特に音色を出す部分の根元は2ミリくらいの厚さになったら、手の甲で叩きながら振動音を確認して慎重に削りましたが、その都度講師が参加者のムックリを調整していました。出来上がったムックリに紐を2ヶ所通して完成後に講師から紐の引く角度や力加減、口の当て方などの説明を受け、講師から「あとは練習あるのみです」で講座を終えました。参加者6名はオリジナルムックリが完成して満足していたようです。



◎晩秋のシラルトロ湖畔で水鳥を観察

10月23日(土)、紅葉が見頃を迎えていたシラルトロ湖畔で、「晩秋の湿原 野鳥観察会」を実施しました。この日は小雨混じりだったものの、風は穏やかで気温もやや高め。さらに、太陽光も柔らかく、絶好の野鳥観察日和でした。

この日のメインターゲットは(オオ)ヒシクイやオオハクチョウをはじめとする水鳥たち。水鳥たちを飛ばさないように、慎重に湖岸に近づき、双眼鏡やフィールドスコープを使って観察を行いました。この日は特にヒシクイが絶好調で、湖上でヒシを食べる姿のほか、100羽近い群れが目の前を飛んでいく様子も何度も見られました。最終的に確認できた野鳥の種類は昨年よりやや少なかったものの、目の前を飛び交うヒシクイの圧巻の光景が見られるなど、シラルトロ湖の秋の魅力を満喫できた一日となりました。

参加者 10名



12月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

シマエナガフィギュアを作ろう

[日 時] 12月4日(土) 13時～15時
[定 員・参加料] 10名 100円(材料費)
[開催場所] 塘路湖エコミュージアムセンター

◎問い合わせは塘路湖エコミュージアム
センターまで

塘路フィールドウォッチング～初冬編～

[日 時] 12月18日(土) 10時～12時
[定 員・参加料] 10名 無料
[開催場所] 塘路湖エコミュージアムセンター

◎問い合わせは塘路湖エコミュージアム
センターまで

湿原の「かたち」を見て歩こう

[日 時] 12月5日(日) 10時～12時
[定 員・参加料] 10名 無料
[開催場所] 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンターまで
(0154-65-2323)

◆日出・日入時間 10/15(5:35,16:40). 10/31(5:54,16:16). 11/14(6:12,16:00)

～編集後記～

■日没が早くなり、午後4時を過ぎると一気に夕闇が迫る頃となりました。そんな闇の中から雄シカの鳴き声が聞こえてきます。一時、阿寒の山並みも雪で白く輝いていたのですが、気温が高い影響で山頂部分以外は雪が消えていました。昨年より暖かいようですが、この先一気に気温が下がることもありますので、くれぐれも御身体ご自愛ください。引き続き新型コロナ感染対策をしながら対応していますので、来館の際は皆様の御協力をお願いします。

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あるこっと

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野
TEL: 015-487-3003 FAX: 015-487-3004
E-mail: emc@hokkai.or.jp

Instagram [torokoemc](https://www.instagram.com/torokoemc)

開館時間: 10:00～16:00

(4～10月: 17:00まで)

休館日: 毎週水曜日 12月29日～1月3日

入館無料